

# 第 18 回

## 日本体力医学会東海地方会学術集会

期日:平成 26 年 3 月 16 日(日)

会場:あいち健康の森健康科学総合センター

後援:公益財団法人愛知県体育協会

公益社団法人愛知県医師会

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

## 第 18 回日本体力医学会東海地方会学術集会開催にあたって

第 18 回日本体力医学会東海地方会学術集会

会 長 津下 一代

(あいち健康の森健康科学総合センター センター長)

第 18 回日本体力医学会東海地方会学術集会開催にあたり、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。春の息吹を感じるあいち健康プラザにて、本大会を開催させていただくことができ、関係のみなさまに厚く御礼申し上げます。

本学会は歴代理事長の熱意と強力なリーダーシップのもと、体力医学の進歩と若手研究者の育成を目的に、この地で活躍する医系・体育系・健康科学系の研究者が年に一度顔を合わせてディスカッションできる場です。

平成 25 年度は「健康寿命の延伸」がクローズアップされた年です。4 月に健康日本 21（第二次）がスタート、6 月には「日本再興戦略—戦略市場創造プラン—」が閣議決定され、「健康寿命の延伸」をめざしたさまざまなプロジェクトが動き始めました。健康増進の意識づけと環境づくりにより、健康寿命の延伸ならびに社会保障費の安定を達成し、国際的にも強みを発揮できる社会の構築に向けた動きが活性化されることと思います。

この動きをとらえつつ、等身大の研究や活動を発展させていくために、シンポジウムでは『健康寿命を延ばすために、体力医学は何ができるか?』をテーマとし、多様な切り口で健康寿命の延伸と体力医学の関係について議論することとしました。

一般演題としては 17 題のご応募をいただきました。運動生理学の基礎的な研究から運動疫学、介入研究まで、幅広い研究成果を 1 日いながらにして概観できる充実した内容となっています。若手研究者の意欲的な発表も楽しみです。

なお、本会の運営にあたりまして、ヘルスケア関連企業さまを中心に、多大なるご支援いただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

なにぶん手作り学会ですので、至らないことも多々あろうかとは存じますが、事務局一同、心をこめて準備しておりますのでご容赦いただきますようお願い申し上げます。研究者、実践者、学生さんはじめ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

平成 26 年 3 月 16 日

## プログラム

受付開始 8:30

開会の辞 9:00

### ● 一般研究発表

#### 【セッション1】 9:10～9:50

##### ◆座長 富樫 健二（三重大学）

1. 異なる速度における歩行時のヒト大腿直筋の部位依存的な活動制御  
○渡邊航平（中京大学国際教養学部）
2. 膝関節屈曲位における大腿四頭筋の持続的な筋収縮では中間広筋が最も疲労する  
○安藤良介（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
3. 若年者における他動的な腕振り動作時における三角筋の筋活動応答  
○尾方寿好（中部大学生命健康科学部スポーツ保健医療学科）
4. Eicosapentaenoic acid (EPA) が老化促進モデルマウスの筋量減少および筋力低下に及ぼす影響  
○夏目有紀枝（名古屋大学大学院医学系研究科健康スポーツ医学分野）

#### 【セッション2】 9:50～10:40

##### ◆座長 村本 あき子（あいち健康の森健康科学総合センター）

5. 正常体重男性でのカロリー制限時における運動負荷の糖代謝への影響  
○小池晃彦（名古屋大学総合保健体育科学センター）
6. 腹囲・有酸素能力別にみた生活習慣病指標の検討 ～40歳代男性を対象として～  
○田村 翠（あいち健康の森健康科学総合センター）
7. ペダリング技術が自転車運動時の力の伝達効率、酸素摂取量に及ぼす影響  
○木梨公介（豊橋技術科学大学大学院）
8. 女子大学生における同一自覚的強度による屋内外でのランニングおよび自転車運動の運動強度と酸素消費量  
○中右悠太（名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科）
9. 中年世代を対象とした同一自覚的強度による自転車エルゴメータ運動とトレッドミル運動の比較  
○児玉 泰（名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科）

### 【セッション 3】 10:40～11:20

◆座長 小池 晃彦（名古屋大学）

10. 訪問型介護予防運動の介入効果の持続と運動習慣  
○井口睦仁（常葉大学）
11. 在宅での短期間レジスタンストレーニングが高齢者の身体機能に及ぼす影響  
○富田 彩（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
12. サルコペニア高齢者に対する運動と食事の介入が体組成、生活体力に及ぼす影響  
○服部真実（あいち健康の森健康科学総合センター）
13. 運動施設におけるメンタルヘルス不調者に対する運動プログラムの検討  
○尾関拓也（あいち健康の森健康科学総合センター）

### 【セッション 4】 11:20～12:00

◆座長 片山 敬章（名古屋大学）

14. 持久運動中に摂取した糖質溶液の水分吸収速度に関する研究  
～糖質の種類による比較～  
○石原健吾（椙山女学園大学生生活科学部）
15. 中国農民工の子供における体格に関連する社会経済因子について  
○盧金達（中京大学体育研究科）
16. 第 5 中足骨疲労骨折に対して Cannulated Herbert Screw を用いた治療経験  
○中空繁登（鈴鹿回生病院整形外科）
17. 運動時の呼吸リズム観察への新しい呼吸モニターの応用  
○齊藤満（愛知学院大学心身科学部）

### 【理事会】 12:15～13:15（健康科学館 2 階 健康学習室 3）

### 【総会会】 13:20～13:40（ヘルスサイエンスシアター）

● シンポジウム 13:45～15:45 (ヘルスサイエンスシアター)

◆コーディネーター 津下 一代

(あいち健康の森健康科学総合センター センター長)

『健康寿命を延ばすために、体力医学は何ができるか?』

1. 子どもの生活習慣と体力・健康

山下 晋 (岡崎女子短期大学)

2. 働き盛り世代における生活習慣病の発症予防と重症化予防

井本 貴之 (トヨタ自動車株式会社)

3. メンタルヘルスに及ぼす運動・身体活動の効果

原田 和弘 (国立長寿医療研究センター)

4. 運動実践における整形外科的課題 —スポーツドクターの立場から—

近藤 精司 (至学館大学)

5. 身体活動と環境

種田 行男 (中京大学)

閉会の辞 15:50